

4 (三浦地域) プレゼン発表

【三浦地域の課題 (概要)】
【課題解決方法】
【プレゼン資料】 / 【説明者の発言】

4 (三浦地域) プレゼン発表

※詳細は末項「(別表) 個別事業一覧」参照願います。

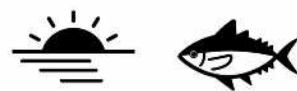
【三浦地域の課題 (概要)】

- 高齢化
- 豊富な地域資源(漁業、自然や景観等)を活かし、メディアなどで発信し交流人口や関係人口を増加させたい。

⇒地域情報を発信する市民記者としていきいきと活躍する高齢者を育成し、三浦市を盛り上げる

【課題解決方法】

- ⇒IT機器初心者もいれば、ITスキルが高く今にもメディアで情報発信できる人もいる。
- ⇒それぞれのニーズに合った支援が必要



令和3年度 地域の支え合い仕組みづくり事業
中間報告会（令和3年10月29日）

高齢者活躍の仕組みづくり支援分野

Don't tell anyone! 地域資源情報を集めて広めて 繋がろう大作戦！

三浦市地域資源情報プラットフォーム推進協議会

1

【説明者の発言】

三浦市地域資源情報プラットフォーム新協議会より中間報告をいたします。まず私たちの協議会のメンバーが今日参加していますので、先にご紹介をさせていただきます。

三浦市から市民協働課担当者、それから、高齢介護課担当者がいらしています。

そして、三浦市社会福祉協議会の担当者がいらっしゃいます。

そして、私、協議会の事務局をしております三浦市民交流センターニナイテの担当です。どうぞよろしくお願いいたします。

第1 概要

○ 地域の背景、課題、現状

- 三浦半島の最南端に位置し一次産業が中心の人口約42,000人の都市
- 高齢化率40%を超えている。自慢できる数字は、約94%の自治会加入率だ。
- 地域活動では圧倒的に女性が中心で男性の参加は少数。また、企業に勤めていたリタイア組は地域との関わりが希薄で、交流経験がなく参加機会が乏しいとのこと。
- 団塊世代が70代を迎え、このようなリタイア組が増加し、引きこもってしまうと地域活動が停滞する危惧がある。
- 一方、三浦市の若者は定住意識が低い。都心の若者は地方移住に関心が高まっている傾向もある。

2

【説明者の発言】

第1の概要をご覧ください。地域の背景課題現状についてです。

人口約4万2000人、高齢化率40%を超える地域にあってリタイアした高齢者のひきこもりへの懸念を課題として認識し、この後の3ページ以降にある目的を設定いたしました。

第1 概要

○ 本事業の目的（その1）

活躍の場を見いだせないリタイア後の高齢者が、社会参加のきっかけとなる身近にある地域の良さ＝地域資源を再発見、再発掘し集約する活動に参加し、地域資源情報の集積と発信に貢献できるプラットフォームを作る。

そして！

高齢者が今まで培ってきた経験、知識、記憶、感性、地域の繋がり、地域の仲間などを総動員して、地域の良いところを集め整え記録し発信する活動をすすめる。

高齢者が地域メディアを活性化させる！

【説明者の発言】

私たちは三浦市に住むリタイアをした高齢者の皆さんが 地域の身近にある地域の良さ、地域資源を再発見再発掘して地域資源の情報を発信するプラットフォームを作ることを、第1の目的としました。

第1 概要

○ 本事業の目的（その1）

高齢者が活躍して地域の魅力・地域の良さを誰もが知ることのできる仕組みができ、市内外へ地域の魅力が伝わります。



新たに三浦市を好きになったり、移住に興味を持つ市外の人や、三浦市にずっと住みたいと思う若者層が増えることに繋がります。



三浦市を好きになり、三浦市のために自分たちも行動を起こす者が増える。三浦市が持続的に市民の力で元気な街になる。

【説明者の発言】

対象は高齢者から始まっていますが、活躍する高齢者がいること。そのこと自体が地域の魅力となつて、世代を越えて、三浦のファンが増えて市民の力で元気の町になることを目指しています。

第1 概要

○ 本事業が描く未来（ゴールイメージ）

- 高齢者が活躍する場があり、グループでも個人でも自由に活動することが可能となる。地域の魅力＝知財の集積がなされ、活用・発信が行われ、地域の魅力が広く伝わる環境が整備される。
- 高齢者がスキルを学び様々な地域メディアへ地域資源情報を発信し繋がりを感ずることができるとあるコミュニティがある。
- 地域資源情報の価値の最大化を図り、活躍していることを肌で感ずることができるとあるスキームが確立されている。
- 情報発信、情報共有を実践レベルで経験している過程でデジタルリテラシーを身につけ、日常から有事の際においてもスマホを活用している。

5

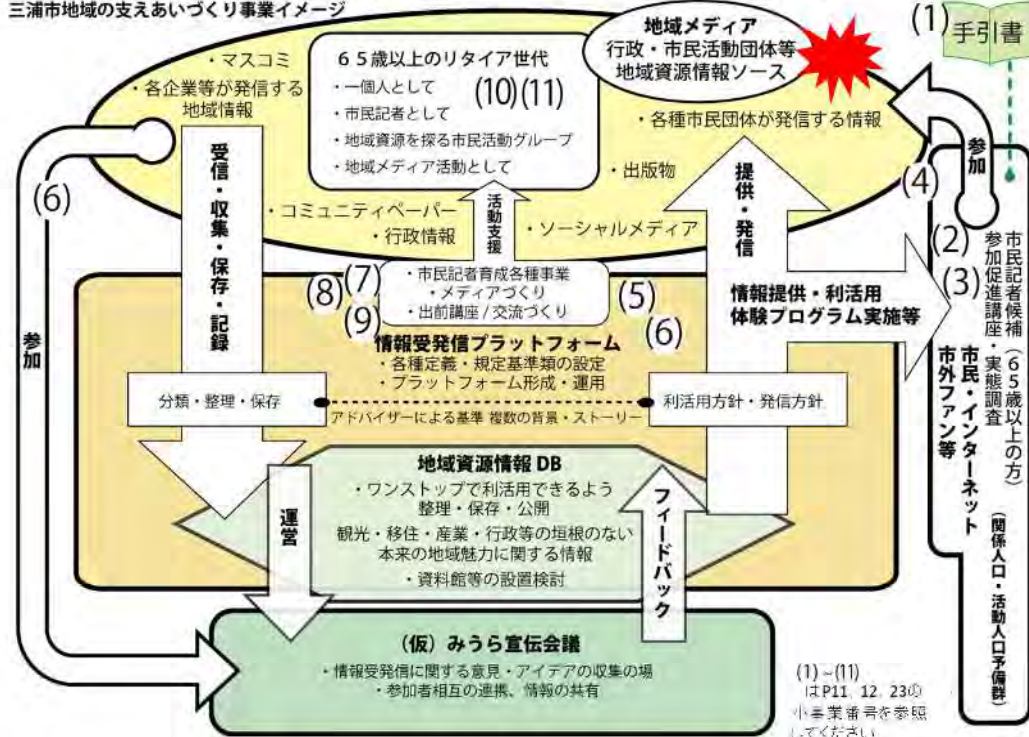
【説明者の発言】

本事業が描く未来のゴールですが、高齢者の皆さんがいきいきと地域の情報の発信者になって、それと同時に、若い世代にとっても地域の良さを再発見再発掘する機会となり、この三浦で地域の魅力を発見し、生きがいを持つ連鎖が広がることを目指しています。

第1 概要

○ 本事業が描く未来（ゴールイメージ）

三浦市地域の支えあいづくり事業イメージ



【説明者の発言】

こちらは当初から描いているゴールのイメージ図になります。

提案事業では5つの事業で、2、3の取り組みを計画し、全体で11事業に取り組んでいます。その取り組み項目につきましては、皆様のお手元の資料の11ページ12ページに一覧がございますので、ご覧いただければと思います。

たくさんございますので、本日は本事業の取り組みについて、全体で4ページにわたって報告をします。資料の7ページから10ページに記載しております。

第1 概要

○ 本事業の取組内容

地域資源情報プラットフォームの整備と活動の展開

- 地域資源情報の定義を伝え、多様な参加形態を整備し、参加呼びかけの実施
- アドバイザーからの助言を得て、地域資源を収集・活用するためのノウハウの整備
- モデル活動となる新たなグループ形成を支援し、ノウハウをフィードバックする
- 地域資源受発信の体制整備、活用するためのルール化、対応するスタッフ教育の実施

【説明者の発言】

地域資源情報プラットフォームの整備、活用の展開です。（1）から（6）に当たる取り組みをしています。

第1 概要

○ 本事業の取組内容

市民による多様な地域資源情報の発信

- 活動したいと考える高齢者向けに、多様な情報発信スキル向上のための講座等を実施。
- SNS、ウェブサイト、コミュニティペーパー、壁新聞など多様な媒体への情報発信のトライアル。
- 発信されている情報が一元化され周知される体制の整備



【説明者の発言】

市民による多様な地域資源情報の発信として、取り組み（7）、（8）にあたる講座や情報の発信を行っています。

第1 概要

○ 本事業の取組内容

活躍していることを肌で感じることができる仕掛け＝価値の最大化

- 多世代、他地域の交流促進のモデルケースづくりのため大学の知見を活用した各プログラムのトライアル。
- 地域資源に関する出前講座の開催支援、展示会等交流プログラムの実施
- 各分野の情報とそれらを発信する人々の活動そのものを人文資源としてとらえ、センターのブログ等での紹介。
- 大学への情報提供、マッチング等を行い誘致し、インターンシップ及びフィールドワークを通じた、大学生と地元民との交流促進。
- 小さいけれども、貴重で大切な情報を丁寧に地域資源情報として収集するため、マニュアル及び体制整備。
- 市内の事業者や市民活動グループ等がPR等に帰する情報の活用を検討する場「仮）みうら宣伝会議」の実働。
- 地域に伝わるレシピ、貴重な自然資源、方言、人物との触れ合いなど市民主体の活動による体験プログラム化の試行。

【説明者の発言】

さらにこれを発展して、活躍していることを肌で感じることができる仕掛け、そして、（7）（8）（9）に関する、ご覧のような取り組みを進めています。

第1 概要

○ 本事業の取組内容

対象世代の情報リテラシーの向上

- デジタルリテラシーを高める講座等実施
- SNS活用講座の開催、試行（テレビや新聞以外の情報源として活用できるなど伝達）
- 災害時に活用できるアプリ等の体験

地域の高齢者
サロンでの
スマホ教室



【説明者の発言】

対象世代の情報リテラシーの向上として、（10）（11）の取り組みを行っています。

一つ一つの取り組みにつきましては、これから発表します進捗状況の中で触れて参ります。

第2 進捗状況

○ 当初スケジュール

別添「スケジュール 各個別事業の進め方（R3）」を参照ください。

2023/2/21

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.1 事業概要の整理	プロジェクトチームの体制											
1.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
1.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
1.4 事業概要の整理	事業概要の整理											
2.1 事業概要の整理	事業概要の整理											
2.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
2.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
2.4 事業概要の整理	事業概要の整理											
3.1 事業概要の整理	事業概要の整理											
3.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
3.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
3.4 事業概要の整理	事業概要の整理											
4.1 事業概要の整理	事業概要の整理											
4.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
4.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
4.4 事業概要の整理	事業概要の整理											
5.1 事業概要の整理	事業概要の整理											
5.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
5.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
5.4 事業概要の整理	事業概要の整理											
6.1 事業概要の整理	事業概要の整理											
6.2 事業概要の整理	事業概要の整理											
6.3 事業概要の整理	事業概要の整理											
6.4 事業概要の整理	事業概要の整理											

【説明者の発言】

それでは進捗状況についてご報告いたします。

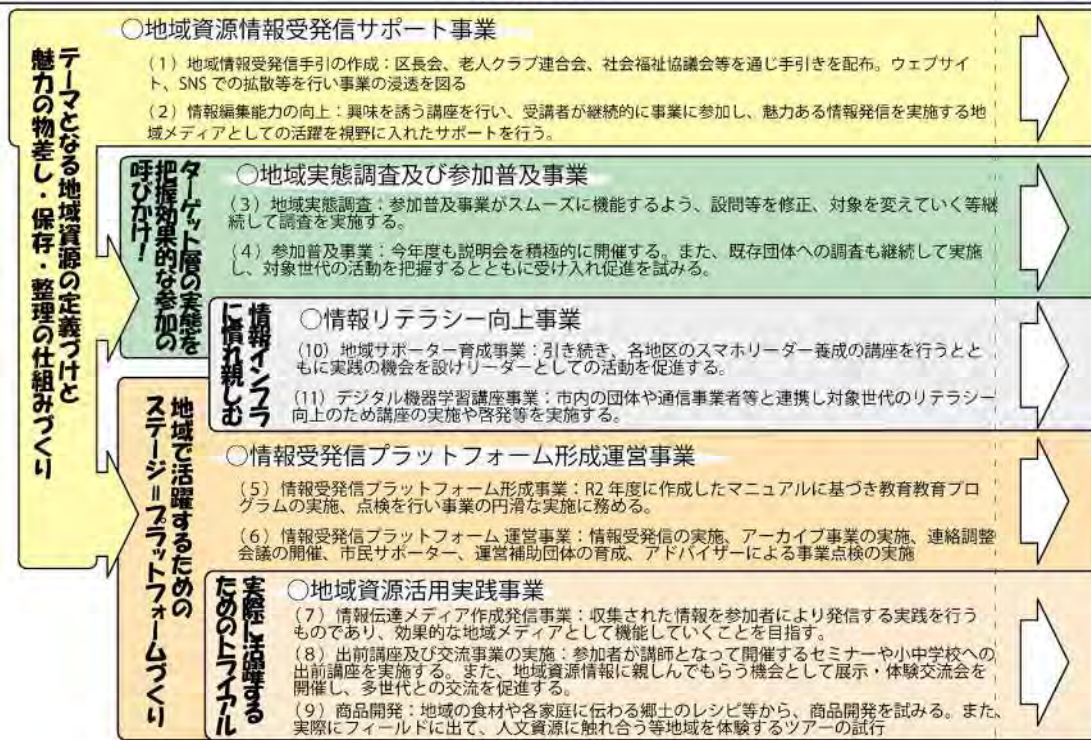
こちらは本事業のスケジュールです。資料を別添しておりますのでお手元の資料でご覧いただければと思います。

第2 進捗状況

○ 当初スケジュール

令和3年度

令和4年度



12

【説明者の発言】

こちららも全体の取組みを大きくまとめたものになります。

昨年度から継続しての実施となります。今年の4～5月に、先ほどの三浦市地域資源情報プラットフォーム協議会の皆さんと準備を進めました。

以前から着手してきたものもありますが、今回、この後（シート23）ご紹介いたします二ナイトカレッジという形で企画にまとめました。そして、9月から開講をすることを目指して広報を進めて参りました。

しかし、参加者が集まり始めた矢先の8月下旬から緊急事態宣言がありまして当初のような予定にはいかなくて、中止・延期をすることを余儀なくされました。

今年度は、ほぼ予定通りに始まりまして、二ナイトカレッジの募集も定員の3倍を超える問い合わせがありまして、いよいよというところでしたので、出鼻をくじかれまして、主催者側としては大変大きな痛手となりました。

第2 進捗状況

○ 進捗状況の概観

コロナ禍で事業が停滞した。

本事業は、市域全体が対象だ。「一部だけ」、「特定の人だけ」という進め方ができず、マ스에呼び掛けることを前提に進めざるを得ず、緊急事態宣言下では「呼びかけ」を基本的に止めて、状況を待ってから進めることに終始した。そのためスタッフは萎縮した状況が続いていた。

今後の第6波も危惧される状況であるが、少しずつでも前に進めていこうという気持ちで取り組んでいる。

【説明者の発言】

推進協議会でもオンラインで定例会等で打ち合わせを行いました。

下半期の事業のスケジュールを組み直したり、再調整を行いました。別添のとおり、10月に開講変更急遽変更しましたこちらの二ナイトカレッジのチラシをお付けしていますので、詳しくはそちらの方をご覧くださいと思います。

第2 進捗状況

○ プラットフォームの整備と活動の展開

- アドバイザーの助言により地域資源情報の定義、活動方法等を紹介した活動初動用ガイドブックの作成
- ガイドブックを配布し、多様な投稿の参加の呼びかけを開始。(老人クラブ、区長会、各サロンなど約1500部、講座受講者に配布)
- 説明会の開催(3回開催 延べ23人参加、今後も開催予定)
- 説明会参加者による交流会の開催、新たなグループモデル活動の支援に着手。
- サロン活動、施設等での参加の呼びかけ。(サロン15箇所等)
- 専用ウェブページでの事業の紹介、参加の呼びかけ
- センターによる基本情報、投稿情報の整理・発信に着手。
- 収集保存マニュアルの作成、今後作成する活用発信マニュアルを活用し支援するスタッフの育成。

【説明者の発言】

続きまして、プラットフォームの整備と活動の展開について報告します。

こちらに書いてありますが、次のスライドでご案内したいと思います。

第2 進捗状況

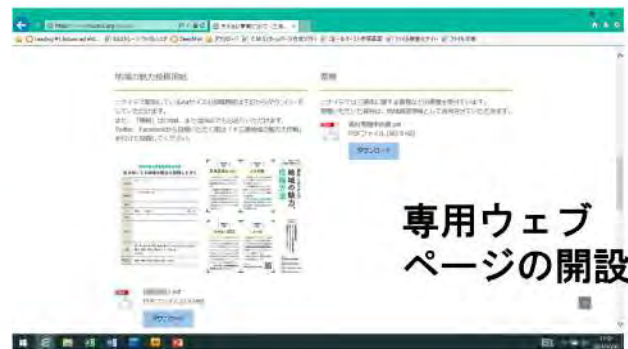
○ プラットフォームの整備と活動の展開



ハンドブック
をベースに
説明会を開催



参加者の交流からグループへ



専用ウェブ
ページの開設

15

【説明者の発言】

昨年度作成しました、こちらのハンドブックがございます。これを配布しながら進めております。

これまでに老人クラブ、区長会、各サロン等に約1500部配布し、そして今開催している講座等の参加者にも配布をしております。

上半期は説明会を3回実施することができまして、延べ23人参加し、今後も開催をしていきます。こちらリアルで開催をしております。活動への参加呼びかけとして、サロン15ヶ所のほか、センターの方の専用ウェブページで、事業の紹介などを行っています。

また、市民交流センターによる基本情報、投稿情報の整備発信、収集保存のマニュアル等、またスタッフの育成なども着手をしております。

第2 進捗状況

○ 市民による多様な地域資源情報の発信

- 情報編集能力の向上・情報伝達メディア作成スキルアップを図るため講座群を開催（アナログ系 4回、デジタル系 6回、フィールドワーク系 3回）※詳細は別紙を参照
- 講座を開催し実践のトライアルを実施する。また、講座後のフォローアップを実施する。
- 発信されている情報や発信者に関する情報はセンターのウェブサイトやセンターたよりへ掲載する。
- 幅広く共有されるため「共通#タグ」などの手法などの利用を呼びかけるとともに支援方法を発信活用マニュアルへ掲載し展開する。

【説明者の発言】

続いて、市民による多様な地域資源情報の発信についてご紹介いたします。（参考：センターのウェブサイト<https://www.miuracc.org/>）

第2 進捗状況

○ 市民による多様な地域資源情報の発信

スキルアップを図るための講座群を
市民大学として一元化し開催

講座名	内容	開催日時	講師	申込
PC講座	パソコンの基礎から応用まで、初心者から上級者まで対応。Word、Excel、PowerPointの操作を学ぶ。	10月10日(火) 18:00-20:00	講師: 山田太郎	申込: 10月5日(木)まで
大人気 Youtube講座	人気YouTuberによる実践的な講座。最新のトレンドやノウハウを学ぶ。	10月15日(日) 10:00-12:00	講師: 山田太郎	申込: 10月10日(火)まで
各種講座の紹介・周知	市民大学で実施する様々な講座の紹介と申し込みの案内。	10月20日(金) 18:00-20:00	講師: 山田太郎	申込: 10月15日(日)まで



大人気
Youtube講座

PC講座



各種講座の
紹介・周知



【説明者の発言】

報編集の能力向上、そして、情報伝達メディア作成のスキルアップを図るための講座というのを、ニナイテカレッジの中で行いました。講座では、実践練習後、フォローアップによって定着と発展をさせていきます。

このスライドに開始当初の写真が載っていますが、本当にキャンセル待ちの続きでした。申込みを8月にして、やっと10月に来れたという思いでした。私たちが思った以上に、ウェブに関する関心が高齢の方達も大変多かった形です。10月の時点ではいくつかの講座ではフォローアップが始まったところです。

また、市民交流センターのウェブサイト (<https://www.mieuracc.org/地域資源情報/>) や便り、SNSで、共通のハッシュタグなどを使って、さらに情報の受発信を進めて参ります。

第2 進捗状況

○ 活躍していることを肌で感じることが できる仕掛け=価値の最大化（その1）

- 地域に伝わるレシピ、貴重な自然資源、方言、人物との
触れ合いなどの体験プログラムのトライアルの実施。
体験ツアー（関東学院）、食の商品開発（県大）
- 地域資源を活かした出前講座実施の支援（ウォーキング予定）
- 活動内容や活動者のことが理解できる展示・交流会開催
（予定）
- 神奈川新聞（三浦市が担当：「みんな三浦びと」）、タ
ウンニュース（人物風土記）、センターブログなど各メ
ディアで掲載されるよう情報共有

地域情報の発信者として
地域メディアへ紹介



【説明者の発言】

活躍していることを肌で感じることが出来る仕掛けとしては、次のようなことを行っております。

第2 進捗状況

○ 活躍していることを肌で感じる事ができる仕掛け=価値の最大化（その1）



出前講座
地域ウォーク
の開催支援

大学連携による
体験プログラムの
トライアルの実施

ワラで稲作の循環を学習



農家料理体験



【説明者の発言】

地域に伝わるレシピ、そして自然資源を現物とか人との触れ合いなどの体験プログラムのトライアルとして、関東学院大学による体験ツアーですとか、県立保健福祉大学栄養学科による食の商品開発の企画を進めました。

また、地域資源を生かした出前講座の実施の支援や、活動内容や活動者のことが理解できる展示や交流会の企画も準備を進めております。各メディアによる情報発信を行っております。

第2 進捗状況

○ 活躍していることを肌で感じることが できる仕掛け＝価値の最大化（その2）

- 大学生との交流の実施。本事業での関わり（関東学院大、横浜市大、県立大）、本事業へのインターン受入れ（明治大、東京大学、関東学院大）
- 小さいけれども、貴重で大切な情報を丁寧に、収集マニュアルに基づき「ネタ」情報として集積
- 集積した情報等の活用方法等を検討する外部機関である「（仮）みうら宣伝会議」は、観光協会、NPO、企業等、参加者を選定し開催
- 市民活動主体の体験プログラム支援は活用マニュアルにフィードバックする。

20

【説明者の発言】

活躍していることを肌で感じることが出来る仕掛けのその2として、大学生との交流がございました。

先ほども出て参りましたが、関東学院大学、横浜市立大学、県立保健福祉大学が、授業で直接研究室が参加をして協力してくださっています。

また明治大学、東京大学、関東学院大学からは、インターンシップの受け入れを行いまして、学生たちが本事業に関わっております。

具体的には情報収集のマニュアルに基づいて得た情報を集積したりですか、マニュアル作成に関わる等の協力してくださっています。

第2 進捗状況

○ 情報リテラシーの向上

- 自治会長、社協、老人クラブ向け講座を開催し地域全体への広がりなどスキルアップを図る。
- SNS活用講座を開催する。受講生から徐々に広めていく。
- アンケートにより情報収集等について把握し、次年度以降の事業を検討する。
- NHKと連携し全世帯へ防災アプリの案内を送付し導入を促す。

自治会長
スマホ教室



21

【説明者の発言】

情報リテラシー向上事業では、自治会長、社協、老人クラブ向けの講座を開催いたしました。地域全体への広がりなどを図っております。

今後、二ナイテカレッジの中に開催するSNS活用講座から、情報リテラシー普及をします。

また、アンケートにより情報収集等を行って把握を行い、次年度に向けて事業を検討して参ります。

それからNHKと連携しまして、防災アプリの案内をそれぞれ送付をして導入を促す予定であります。

第2 進捗状況

○ 表出した課題など

コロナ禍での対象世代への呼びかけが難しくなった。

- 講座の開催が出遅れた。告知も消極的にならざるを得なかった。
- 会議系の招集ができていない。（アドバイザー会議、（仮）みうら宣伝会議 等）
- 活動への参加呼びかけも消極的な状況
- 活動の印象が地味？



後半で巻き返してできるよう、周知に注力する！

【説明者の発言】

表出した課題についてですが、上半期の軸の中では、初めにご報告したように、企画がまとまって始まるところで募集停止、そして企画の再調整を行って、ちょっと後ずれして10月に一気に始める形になってしまいました。本当でしたら、じっくり関係性を築いたり、フォローアップを行うという時間をかけて丁寧に行きたい部分が、十分でなくなってしまうと認識しております。

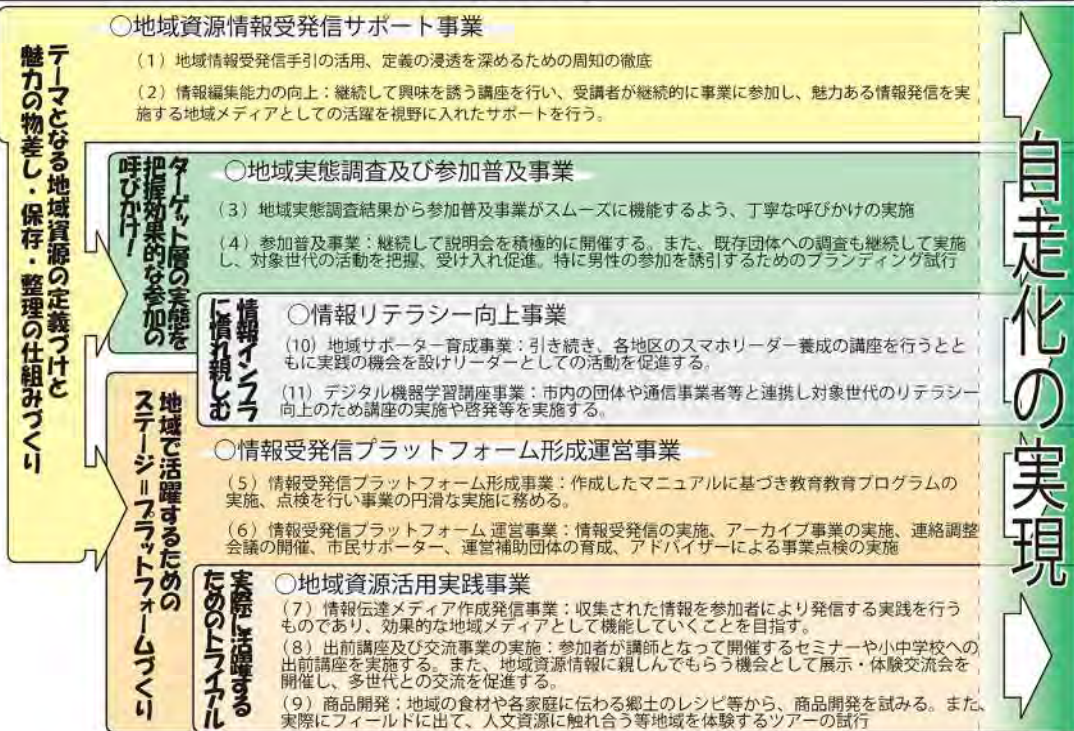
また、その後に繋がる会議等の開催が遅れてしまっているということが起こっております。

第3 今後の取組み

○ 今後のスケジュール

令和4年度

令和5年度以降～



【説明者の発言】

今年度上半期に取り組めたことと併せて、今月10月より二ナイトカレッジが開始をいたしました。企画を動かしながら、当初描いていた未来へのゴールを目指していきたいと考えております。

第3 今後の取組み

○ 目的達成のための課題

プラットフォームを堅牢な体制に

- ・ いつでも立ち寄れて、経験豊富なスタッフがいる。活動している仲間もいて、自由に活動を始め続けることができる場とする。

参加したいと思える活動へ

- ・ 活動している姿に誇りを感じることができ、成果が地域の宝物となる。これらの活動をデザインの力でより魅力的に見せ、特に男性の参加を促す。

情報の収集・活用を進めるため収集される情報の「知財」としての位置付けの検討

- ・ 地域で暮らしてきた豊富な経験と知見から編集される地域資源情報は地域を知るための貴重な知財と位置付ける。

24

【説明者の発言】

後、目的を達成するための課題として、6つお伝えしたいと思います。

1つ目は、プラットフォームを堅牢な体制にすることです。

2番目、参加したいと思える活動につないでいくことです。

3番目、情報の収集活用を進めるための収集される情報を「知財」としての位置付けを検討していくことです。

第3 今後の取組み

○ 目的達成のための課題

体験プログラムのアクティビティ化の実証

- ・ 埋もれた地域資源も視点を変えたコーディネートで、唯一無二の体験となり、提供者、体験者双方の交流促進。

さらなる新規グループ育成化等初動活動支援の継続

- ・ グループの活動が活発になると、ノウハウの蓄積やネットワークの構築などが図られ波及効果が期待できる。

継続的な大学連携事業の実施

- ・ 地域資源情報と情報提供者をセットでのマッチングが大学ゼミ単位の地域活動に有効と評価され、R5年度以降も継続の申し入れがあった。（県立保健福祉大学、横浜市大、國學院大學など）

【説明者の発言】

4番目、体験プログラムのアクティビティ化の実証です。

5番目、さらなる新規グループの育成など、初動活動の支援の継続です。

6番目、継続的な大学連携事業の実施になります。

実施してきた活動につきましては、課題が明確になり、参加者からの反応も上々です。

スケジュールや企画運営にあたりまして、まだまだ調整や対応が必要になっております。高齢者だけではなくて、関わる多世代の方々との交流によってこの事業が自立していけるように、関わった方々のやる気ですとか、期待の声を追い風にして、今後も進めて参りたいと考えております。

第3 今後の取組み

後半戦も
しっかり取り組めます！
めざせ！早期自走化！

ご清聴ありがとうございました。

【説明者の発言】

以上となります。ご清聴ありがとうございました。

令和3年度ニナイテカレッジについて

令和3年度ニナイテカレッジは市民活動の基本となる「情報の発見・発掘と編集・発信」のスキルを磨く事に重点を置いたプログラムを実施いたします。情報は使い方によって受け手側の印象が大きく異なります。情報を正確に、かつ、伝えたい思いを乗せて発信できるスキルを磨きましょう。

今年度のコースでは「言葉」「写真」「動画」の3種類を基礎から学べます。また、各種メディアへの展開までを学べるプログラムを用意しました。この機会に「情報」に対する力をつけて、活動に活かしましょう。また、基本的な課題解決の基礎的な力をつけるプログラム等も用意しています。

ぜひ市民の学びの場として「ニナイテカレッジ」へご参加ください。

講座の対象者について

三浦市で以下に該当する方は特におすすめです。

- ・市民活動やボランティアに興味のある方、始めてみたいと思っている方
- ・市民活動を盛り上げたい方
- ・もっと仲間を増やしたい方
- ・市民活動の成果を広くお知らせしたい方
- ・他の団体と交流をしたい方
- ・ノウハウを得てスキルを磨きたい方

※「令和3年度神奈川県地域の支え合い仕組みづくり事業」の助成を得て行う講座（中面※印）は原則65歳以上が対象です。定員に余裕がある場合、65歳未満の希望者は別途サポーターとして受講が可能です。

開催場所について

三浦市民交流センターニナイテで開催します。講座の内容によって、地域でのフィールドワーク活動となる場合があります。



ニナイテ HP



#地域の魅力大作戦



各イベントの詳細

ニナイテカレッジ関連事業

・出前事業

市内小中学校や各種施設などが主催する講座の講師になってみませんか。講座受講者で希望する方の出前講座をコーディネートします。

・市民交流センターまつり

1年に一度の市民活動の晴れ舞台「市民交流センターまつり」は皆さんの活動を知ってほしい、仲間をもっと集めたい等のメッセージを伝え、日ごろの活動を知ってもらう機会として市民交流センターで開催します。

その他のイベントも予定しています。イベントの情報は随時HP等でお知らせします。

アクセス

・最寄り駅

京急三崎口駅、約1.5km 徒歩で約21分

・最寄りバス停

京急バス 引橋バス停、約295m 徒歩で約3分

・お車でお越しの場合

横浜横須賀道路「衣笠IC」より三浦縦貫道路「林出口」左折国道134号引橋前、駐車場：普通車48台

令和3年度 市民活動ステップアップ講座のご案内



受講者募集！

市民と関係団体が協働していく未来を作るための新たな学びの場「ニナイテカレッジ」を開講します。

三浦の市民の力は大きな樹、地域に根付いて、笑顔と魅力の花を咲かせましょう！

3つのレベルで講座を開催します。

～「根」を太く～
これから活動してみたい！



基礎

市民活動やボランティアに興味のある方、はじめてみたいと思っている方向け。

～「幹」を太く～
活動を豊かに盛り上げたい！



中級

市民活動を盛り上げたい、仲間を増やしたい方、市民活動に役立つ学びや体験をしたい方向け。

～「花」を美しく～
活動の成果が実ります！



上級

市民活動の成果を広くお知らせしたい方、他の団体との交流をしたい方向け

三浦市民交流センター ニナイテ

三浦市初声町下宮田5-16 ベイシア2階

Tel: 046-845-9919 Fax: 046-845-9229

Email: info@miuracc.org

HP: <https://www.miuracc.org/>

開館時間: 9:00 ~ 21:00

休館日: 12月31日、1月1日 ~ 3日



令和3年度 ニナイテカレッジ 年間講座スケジュール

市民の自発的な活動で市民に笑顔あふれるまちにしましょう！

「ニナイテカレッジ」は市民と関係団体が協働していく未来を作るための新たな学びの場です。

市民活動のキャリアを積んできた皆さんの更なるステップアップ、支援者・協力者を得るためのノウハウの学び、これから軌道に乗り始める展開期の団体に共通する組織の運営手法、資金調達、仲間集めの手法などの学び、初動期の皆さんにちょうど良い基礎的な学びなど、皆さんが学びたいと思う項目を自由に組み合わせて学べます。

			9	10	11	12	1	2	3	問合せ
市民活動交流会	個人でも、グループでも市民活動の輪を広げましょう。	全て					・12/12 市民活動交流会	・2月 市民活動マッチングイベント		1
情報伝達メディア作成発信講座	自分たちの活動の成果を周囲へ伝えるための具体的なテクニックを学びます。支援者や協力者を増やしましょう。	上級		※・10/21・12/9・1/27・3/10	市民記者になろう 聴いて、書いて、伝える技術 4回連続講座 定員10名 14:00～16:00					1
オンライン会議システム(zoom)講座	オンライン会議システム(ZOOM)の使い方を学びましょう。	中級		※・10/19 超入門編「Zoomをインストールしてみよう」 定員5名 14:00～15:00	※・10/23 初級編「Zoomの使い方を知ろう」 定員5名 14:00～16:00					1
地域助け合い担い手セミナー	地域の助け合いの担い手に必要な知識と技術を学べます。	中級			- 地域の助け合い担い手セミナー 随時(希望地域と調整) -			・2月 地域の支え合いフェス!		2
防災ボランティア交流会	有事の際に市内で活動できる仲間を増やしましょう。	中級				・11/20 防災ボランティア交流会 定員20名 10:00～12:00				2
地域の魅力を発信しよう <情報編集能力向上講座>	自分たちの活動や、地域の魅力を伝える術を学ぶために「言葉」「写真」「動画」を作成・編集するスキルを学びましょう!	中級		※・10/18・10/25 現役YouTuberが教える初心者向けYouTube講座 2回連続講座 定員15名 14:00～16:00	※・10/22・10/29 三浦をもっと好きになる! インスタグラム講座 2回連続講座 定員10名 14:00～16:00		※・11/5・11/12 読んでもらえるライティング入門 2回連続講座 定員15名 14:00～16:00			1
地域の魅力を見つけよう <情報編集能力向上講座>	地域の魅力収集に参加しましょう! 魅力の発見や発掘の手法、見つけた魅力を伝えるための写真や動画に記録するテクニックも学べます。	基礎			※・11/10 身近な海岸の生物観察 定員10名 9:00～11:00		※・1/26 身近な海岸の生物観察 定員10名 9:00～11:00			1
初級パソコン講座	情報を伝える手段として基礎からパソコンを学びましょう。今更聞けないなんてありません。思い立ったら、ぜひ、この機会に学んでください!	基礎		※・10/1 パソコンを使ってみよう! 定員6名 14:00～15:30	※・10/4 インターネットを使ってみよう! 定員6名 14:00～15:30		※・10/6 ワードを使ってみよう! 定員6名 14:00～15:30			1
地域の魅力集め方 はじめ方説明会	あなたが好きだと思う地域のことをみなさんと共有するコツとハウツーを説明します。	基礎		※・10/28 地域の魅力集め方説明会 定員15名 13:30～14:30			※・12/16 地域の魅力集め方説明会 定員15名 13:30～14:30			1
市民活動説明会	市民活動やボランティアを始めたい方、協力者や会員を求めたい団体向けの説明会。	基礎			・11/3 市民活動説明会 定員15名					1
市民活動促進ポイント説明会	ポイント事業に参加して楽しさを増やしましょう!	基礎					・12/12 市民活動ポイント説明会			3
体が資本-未病の改善	未病サロンとして自分の身体を知り活動に活かします。	基礎	・9/24 出張未病センター「体組成を測ろう」 14:00～15:30	・10/25 フレイルチェック 14:00～15:30			・1/28 コグニサイズで「認知症予防」 14:00～15:30	・2/25 フレイルチェック 14:00～15:30	・3/25 イケイケ体操で「筋力UP」 14:00～15:30	2
							・11/22 オーラルフレイル「歯の健康」 14:00～15:30		・12/24 出張未病センター「骨密度を測ろう」 14:00～15:30	

※印の各講座は令和3年度神奈川県地域の支え合い仕組みづくり事業の助成を得て行う講座です。講座受講対象は原則65歳以上の方となります。

開催時間・注意事項など

参加費は無料です。各講座によって、参加者自身で用意していただくものがあります。時間未掲載の講座はお問合せ下さい。

各講座の予約・お問合せ

各講座の予約・お問合せは表右端の問合せ番号の連絡先にお問い合わせください。状況により中止又は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

1

三浦市民交流センター ニナイテ

TEL: 046-845-9919

受付: 9:00～21:00

2

三浦市社会福祉協議会

TEL: 046-888-7347

受付: 平日 8:30～17:15

3

三浦市市民部市民協働課

TEL: 046-882-1111(代表)

受付: 平日 8:30～17:15

4 (三浦地域) プレゼン後の 質疑応答

- (1) 「参加」ではなく「活躍」
- (2) フォローアップについて
- (3) ゴールイメージについて
- (4) 市民記者について
- (5) その他

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(1) 「参加」ではなく「活躍」

Q1-1

スライド18~20の『「参加する」だけではなく「活躍する」』とすると、自分が主体的に動き中心にいるという役立ち感が必要だが、参加者が「自分は活躍している」という気分を味わえるものはどこか？

A1-1

- ・サークル活動をやっている高齢者が、講師や指導者になったりしている。
- ・プログラムに上級/中級を設定し、1つ参加したら「次こういうのがあるよ」というように追っかけていけるような形にしている。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(1) 「参加」ではなく「活躍」

Q1-2

自分達が中心になって動き、当事業に「乗っかる」だけではない自主的な動きが新たに出てきているところがあるか？

A1-2

- ・参加者の方から、「自分たちの活動を広めることを自主的にやりたいからその術をもっと学びたい」という意見がある。
- ・実際にはまだ「活躍の体験」というところまでは行ってないかもしれないが、講師の方々から「あなたたちが持つ情報とか経験というのは、すごく他の人のためになるんだよ」というようなお話等をしていただいた。
- ・活躍の疑似体験をその場でしていただくことで、「こういう未来が見えるんだよ」という体験をしていただいている。

Q1-3

(A1-2を受けて) 資料では「活躍していることを肌で感じることができる」とあり、現状は「参加」という意識であるが、「自分たちが動かしていく」という方向にも動きつつあるという理解でよいか？

A1-3

- ・よい。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(2) フォローアップについて

Q2

高齢者の方が学ぶにあたって、そもそも「手段がない」「手段を学ぶことに抵抗がある」等のハードルがある。フォローアップとしてなにをやっているか

A2

- ・PC講座ではご自宅からパソコン持参いただくところから始めた。
- ・自宅のパソコンを使って、お便り作成や自分たちのサークル活動を紹介等を宿題にしている。
- ・「どうですか」「わからなかったらここで教えてもらえますよ」等、そういうことをスタッフも声をかけている。

○所感

- ・インターネット接続する手前等、情報の受発信とは別のところに問題があつてなかなか日常的に浸透させることが難しいと思われる。
- ・日常的に苦しかったり大変なこと、それから、三浦のまちに対する意識や人と人との繋がり等、その全体を包括した形で運営されている感じがした。大変面白い。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(3) ゴールイメージについて

Q3

当初のゴールイメージどおり、(スライド6の)(10)(11)の方にそのままいきそうなのか?もう少し別の所に軸足があるのではないかと気づかれていますか?

A3

- ・ゴールイメージは、今現状としても(10)(11)を目指したい。
- ・今回のプレゼンでは挙げなかったが、「みうら宣伝会議」の設置を考えている。外部からの視点で集積したアイデアのチェック等を行う場所としたい。
- ・「みうら宣伝会議」に関わっていただけるような人材や人員を二ナイテカレッジ等で探している状況である。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(4) 市民記者について

Q4-1

市民記者が(事業として)回るには、何人ぐらい養成するのか?最終的な規模感はどうなところなのか?

A4-1

- ・目標としては講座を通して10人ぐらいの方々を想定している。
- ・そこからまた派生して増えていくことも考えられる。
- ・参加者ということであれば、100人ぐらい経験してもらえる想定である。継続してやっていただけるキーとなる方々を発見していきたい。

Q4-2

メディア側の確保の方は、今、順調に進んでいるか?

A4-2

- ・タウンニュース(三浦版)や神奈川新聞には、毎回大々的に載せていただいている。
- ・高齢者の方々が自身が自己メディア(Instagram、YouTube等のSNS)で発信していける仕組みを作っている。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(4) 市民記者について

Q4-3

養成にかかる経費をどう工面するか？市民記者さんはボランティアなのか？

A4-3

- ・もともと市民交流センターで活動をしている団体にお申し、活動の成果発表としての場や自分のスキルアップも含めて講習をしていただく。

Q4-4

(Q4-3を受けて) 市役所の委託料や補助金、あとは三浦市社会福祉協議会、市民交流センター側の活動費があるが？

A4-4

- ・市民交流センター事業での実施という部分は検討できるので、うまく乗せて継続していく。
- ・県立保健福祉大学との連携により、令和5年度以降も予算の部分含めて事業の継続が可能となっている。

4 (三浦地域) プレゼン後の質疑応答

(5) その他

○所感

メディアを活性化するために市民記者としての高齢者の方を育成して、地域で動き回って情報を集めて発信していただく事業ということで大変期待している。